

## 2016 年度第 1 回執行理事会議事録

期 日：2016 年 6 月 11 日（土） 13:00～18:15

場 所：地質学会事務局

出席者：渡部会長 山本副会長 松田副会長 齋藤常務理事 安藤 緒方 坂口 杉田 田村  
辻森 内藤 中澤 西 廣木  
(旧執行理事) ウォリス 松田達 保柳  
(事務局) 橋辺

欠席者（委任状提出あり）：岡田 小宮 平田（渡部） 山田

\*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 14 名，委任状 3 名，合計 18 名の出席.

\*前回議事録の承認

### I 審議事項

#### 1. 125 周年記念事業に関する件

##### 1) 記念会員証の発行

発行自体は問題ないが，メリットや目的がはっきりしないので，問題点を再検討の上で再提案.

##### 2) 50 年顕彰の改定の検討開始

50 年会員顕彰の前倒しは提案内容が現実的でない点があるので，却下としたが，別途永年会員となれるような方法があれば再検討のうえ再提案する.

##### 3) 25 年（または 30 年）永年会員顕彰の検討開始

検討を始めることは了承されたが，顕彰の内容は再検討する.

#### 2. 日本学術会議の若手科学者ネットワークへの若手代表者の参加登録について

辻森理事を参加登録する.

#### 3. 「県の石」関係:審議および報告

##### 1) News 誌への掲載について：News 誌 6 月号に予定. オールカラーで掲載した場合，ページ数および印刷費が通常号の約 2 倍程度.

プレスリリースした内容を，そのままカラーで掲載することを承認.

##### 2) 県の石の応募採用者へのご褒美について

当選者約 173（うち 1 件 137，2 件 29，3 件 7）

地質学会のクリアファイル・ニュース誌別刷り等を粗品として送付. とくに 3 件とも採用当選者には学会フィールドノートを進呈.

##### 3) 報告：県の石（徳島県）についてのご意見（石田啓祐会員より）

齋藤常務理事より選定の経緯等に関して説明をしつつ，返答することとした.

##### 4) 今後の対応について

各県での採用を働きかけるため，学会より知事部局に案内文書送付.

広報用のポスターや標本セットなどについて作成作業を進める.

#### 4. 業務委員会等について：下記の委員会について，委員長等の体制をあらためる. 委員の選出については理事会の承認が必要であり，9 月の理事会までの取り扱いは向山議長，佐々木副議長と相談する.

地質学雑誌編集委員会（山路編集委員長，岩森・大藤副編集長，その他委員）

法務委員会（山路委員長 委員：伊藤谷，斎藤真，沢口，杉田）

地質災害委員会（松田達理事を加え，委員長としたい）

## 5. 新旧引継ぎ，その他

### 広報部会

広報全体：坂口

ニュース誌：小宮（企画出版兼任）

防災ポータル：松田達生

WEB：内藤

### 学術研究部会

国際交流：井龍，（前担当ウォリス氏も協力）

行事委員会：岡田

専門部会連絡会議：山田

地層標準：辻森

地層名データベース：中澤

### 編集出版部会

地質学雑誌：中澤

Island Arc：田村

企画出版委員会：リーフレット以外の出版物 小宮（広報兼任），保柳

リーフレット企画出版：高清水委員長，大木淳一，伊藤 孝

社会貢献部会：平田，杉田，廣木

教員免許講習の学会としての参画（講師引き受け）

教科書・入試関連：廣木，星

「県の石」支援委員会：辻森

## 6. 熊本地震災害への学会声明（案）について

字句修正の上 Website およびニュース誌掲載を承認

## II 報告事項

### 1. 全体的報告

(1) 防災学術連携体総会報告（斎藤）

1) 第1回防災推進国民大会への対応：沢口理事が担当者として，プログラム編成までを対応。

①8/27(土)10-13 日本地質学会講演会「都市の地下を知って安全な社会を！（仮題）」

東大理学部

②8/28(日)10-16:30 ワークショップ 1「火山災害にどう備えるか」，2「首都直下地震にどう備えるか」（東大山上会館）について，火山地質関連の講師の要請があり，これについては火山部会の及川部会長に対応を一任した。

2) 日本学術会議・防災学術連携体合同講演会「熊本地震・3ヶ月報告会」（7/169：30-17：45，日本学術会議）

地質学会からは，大橋聖和会員（山口大）・向吉秀樹会員（島根大）が報告する。

(2) 西日本支部「第2回西日本地質研修会」（6/1-2，山口大学地球圏システム科学科との共催）の実施報告があり，講習会41名，巡検21名の参加者があった。収支は17万余円の黒字となり，

余剰金は一旦学会に入金したうえで、共催の山口大学へは折半して奨学寄付金とする。

(3) GSL より The Geology of Japan の入金が確認されたので、週明けに発送の準備をするとの連絡があった。なお、GSL から、現時点での販売部数は、Hardback: 31 部, Softback: 143. そのほか北米に向け 200 部, IGC, PETEX, AGU などでも販売予定とのことが報告されている。

## 2. 運営財政部会：総務委員会 (緒方・西)

### <共催・後援依頼, 他団体の募集等>

- ・神奈川県立生命の星地球博物館特別展「Minerals in the Earth -大地からの贈り物-」(7/16-11/6) の後援依頼を承諾
- ・藤原ナチュラルヒストリー振興財団より、「神戸シンポジウム—ナチュラルヒストリーこれまでの貢献と今後への期待」(兵庫県けんみんホール, 10/22) の後援依頼を承諾
- ・(株) リバネス“サイエンスキャッスル実行委員会”より「サイエンスキャッスル 2016」(さまざまな分野を研究する中・高生の発表・ディスカッションしあう学会) の後援・協力依頼を承認: 12/11-12/24 の間 4 ブロックでの開催, 後援承諾。
- ・新潟大学学術情報基盤機構旭町学術資料展示館より企画展示「ジオパークの石ころ」(7/13-8/27) の後援依頼を承諾
- ・尾瀬保護財団「第 20 回尾瀬賞の募集」案内(募集期間 4/1-8/31) → News 誌, HP, geo-flash に掲載. 第 19 回の受賞者表彰式は 6/9 (都道府県会館, 千代田区) において開催。
- ・文部科学大臣表彰科学技術賞, 若手科学者賞推薦依頼: 特に女性, 海外を拠点に研究活動を行っているもの(締め切 7/27, 学会締め切 7/15) 詳細は文科の HP 参照. → News 誌, HP, geo-flash に掲載
- ・テクノオーシャンネットワーク「2016 年海のフロンティアを拓く岡村健二賞」募集案内 海洋開発に関する機器開発, 深海技術の開発, 研究, 過去 2 年間に発表された論文, 論文発表時 35 歳以下のものが対象. → News 誌, HP, geo-flash に掲載
- ・女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」の募集, 50 歳未満, 自然科学分野の女性研究者(〆切 11/30) → HP, geo-flash, News 誌に掲載
- ・東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の公募(10/7〆切, 学会〆切 8/30) → HP, geo-flash, News 誌に掲載
- ・北海道博物館第 2 回特別展「ジオパークへ行こう」(後援, 7/9-9/25) の開会式(7/8) に, 北海道支部長竹下理事が出席することとなった。
- ・高校生技術チャレンジ JSEC2015 の実施報告: 国内ファイナリスト 8 件を国際大会に派遣 国際大会の結果: グラントアワード 1 等 1 件, 2 等 2 件, インテル財団文化・科学中国訪問賞 1 件
- ・千葉県の職員採用公募: 地質職 1 名(環境保全に関する企画, 立案, 試験研究等) 35 歳以下, 期間 6/3-23 → HP, geo-flash に掲載
- ・日本歴史学協会は, 歴史資料の保存救済を訴える熊本地震に対する緊急声明(5/20) を出した。
- ・日本水環境学会より第 19 回シンポジウム(9/14, 秋田県立大学)開催の案内 → HP, geo-flash, News 誌に掲載

### <会員>

#### 1. 今月の入会者(30名)

正会員〔15名〕: 義山弘男, 竹内慎一郎, 中村英樹, 五十公野裕也, 小尾 亮, 江森良太郎, 清水 徹, 広井良美, 津野洋美, 船井孝誠, 伊藤崇則, 西山直毅, 佐久間 博, 大関

萌, 尾張聡子

正(院割) 会員〔14名〕: 牧野帆乃香, 岡澤 誠, 村宮悠介, 水戸創也, 山根百花, 前浜悠太, 児玉省吾, 井村 匠, シバジ サハ, 井口勝洋, 田原幸太, 渡辺賢人, 手塚直希, 伊藤祐輝

正(学部割) 会員〔1名〕: 伊東慶祐

## 2. 今月の退会者(6名)

加藤夢絵, 天野早織, 藤井 悟, 大矢和孝, 岡部 来, 佐伯綾香

## 3. 今月の逝去者(1名)

上砂正一(2016年6月7日, 逝去)

## 4. 2016年5月末日会員数

賛助: 27, 名誉: 57, 正会員: 3618(正会員: 3509, 正(院割) 会員: 103, 正(学部割) 会員: 6) 合計 3702(昨年比 -48)

## <会計>

- ・熊本地震被災会員からの会費の免除申請は, 現時点での申請者2名
- ・The Geology of Japan の予約部数360部に対し, 前金(1,578,389円)を支払った.  
会員価格: 7,000(非会員 8,000)円 → 6,500(非会員 8,000)円前後(入荷後に確定)
- ・9月の年會に, 招待・訪問の国際交流関係(昼食會, 都内観光等)の費用について確認検討  
大会費用から難しい場合は, 引当金から充当

## 3. 広報部会: 広報委員会(坂口・小宮・内藤)

・ジオルジュ次号の特集 監修の件 企画書提出後に決定 監修: 会長担当

## 4. 学術研究部会(岡田・山田)

### (1) 行事委員会(岡田)

・前・現行事委員長とのあいだで, すでに引き継ぎ書類交換済み

### (2) 国際交流委員会(井龍)

・9月の年會に, 大韓地質学会の代表の招待, 台湾地質学会一行の訪問などが予定されている.

### (3) JIS, 標準担当(中澤, 辻森: 学術研究部会兼務)

### (4) 地層名データベース(中澤: 学術研究部会兼務)

・地層名データベース用カテゴリは用意済み. 学会としての取り組みを対外的に発信する.

## 5. 編集出版部会(中澤・田村・小宮)

### (1) 地質学雑誌編集委員会(山路編集委員長)

#### 1) 編集状況報告(6月8日現在).

2016年投稿論文 総数43編[総説1(和文), 論説19(和文19), 報告4(和文3, 英文1), 講座5(和文5), ノート2(和文), 口絵1(和文1), 巡検案内書11](昨年比+10)  
査読中: 43 受理済み: 10(うち, 案内書1)

・編集委員会新体制発足: (委員長) 山路 敦(副委員長) 岩森 光・大藤 茂で5/21より暫定的に運用を開始した. その他, 編集委員会メンバーについては別途資料参照. 新体制については, 9月理事会にて正式に承認をうける.

・案内書, 125周年特集号掲載のために, 通常原稿の冊子掲載が遅くなる事が予想される. その際の著者サービスとして, 受理後すみやかに事務局より原稿 doi 番号を著者に通知することとした.

- ・125周年特集号投稿の仕方について、通常投稿と区別できるように詳細を案内する。
- ・122巻6月号：論説1，報告3，講座1（計約55ページ，校正中）
- ・122巻7，8号は学術大会巡検案内書を掲載予定。
- ・昨年申し込みのあった特集号「水蒸気噴火研究の展開」（世話人：長谷川健ほか）の投稿が開始された（3/9編投稿）

## （2）アイランドアーク編集委員会（田村）

### 1) 編集状況

Vol.25 Issue3（2016年5月）：特集号「Understaing of the largest oceanic core complex on the Earth, Godzilla Megamullion(世話人：道林ほか)」3編＋一般原稿1編＋2016 award. 計60ページ（5/31発行済み）

Vol.25 Issue4（2016年7月）：一般原稿4編. 50ページを予定（校正中）

### 2) オンライン投稿の状況

過去半年（2016.1.1～2016.5.31）の投稿数35件. うち新規投稿33件.

### 3) その他

- ・5/22例年同様，連合大会にて編集委員会を開催. おもにVol 25からの変更点（隔月化など）などが説明された. また2015年IF（まもなく発表予定）は，1.379の予想（ワイリー試算：かなり上昇！）.
- ・2016年の最多ダウンロード賞が下記の通り決定した.  
Yui Kouketsu et al, 2014, A new approach to develop the Raman carbonaceous material geothermometer for low-grade metamorphism using peak width. *Island Arc*, **23**, Issue 1, 33-50
- ・Issue 4（7月）から誌面レイアウトの変更を予定していたが，作業が遅れており，2016年秋以降になる見込み（Issue 5, 6以降）
- ・地球惑星科学連合大会のサイエンスカフェでWileyの論文投稿・書き方ワークショップ.武藤鉄司氏が講師
- ・Goldschmidt Elsevier &Wiley 共同ワークショップで *Island Arc* の紹介予定（田村）
- ・ *Island Arc* 投稿規程の変更について

## （3）企画出版委員会（小宮：編集出版部会兼務）

### 6. 社会貢献部会（平田・杉田・廣木・辻森）

- ・街中ジオ散歩（5/14）実施報告：参加者50名，収支プラス47,000円強，共催の応用地質学会と折半.
- ・来年の街中ジオ散歩の企画の検討を開始.
- ・平成28年度秋季地質調査研修（講師：徳橋）の実施条件に関する打ち合わせを6/9に実施. 来年度以降の実施については，規約（講師依頼等）を改正して対応する予定.

### 7. ジオパーク支援委員会（平田）

- ・地震火山サマースクール運営委員会の地質学会からの委員は柴田伊廣会員（文化庁）とした.
- ・第17回地震火山サマースクールは，南紀熊野ジオパークを中心に，8/20-21に実施することとなった.6/1-7/15募集期間とする.→ News誌，geo-flashに掲載

### 8. 地学オリンピック支援委員会（平田）

### 9. 地質災害委員会（斎藤）

- ・松田達生理事（防災広報アウトリーチ特任）を次の理事会で承認を受けて斎藤委員長の後任とする。

#### 10. 地質技術者教育委員会（山本）

- ・5/25 JABEE 総会に山本が出席：理学系は新規申請なし。継続申請が減少傾向。  
JABEE 有資格者の大学卒業生の増加に伴い、技術士資格取得の低年齢化傾向

#### 11. 125周年記念事業実行委員会（渡部）

- ・記念事業に関し、佐々木理事、緒方理事の担当部分について、6/2に検討し、今執行理事会で検討審議の必要なことについて緒方理事より提案した。
- ・次回の125周年記念事業実行委員会は6/28に開催予定。

#### 12. 県の石（出版）プロジェクトチーム（辻森）

- ・来月打ち合わせ予定（7/13につくばの科博で）

#### 13. 地質学雑誌のあり方タスクフォース（齊藤）

- ・第1回会合 5/22 齊藤，山路，大藤，小宮，中澤 欠席 藤野（欠）  
担当追加：運営財政部会より，西，緒方の両理事を加えることとした  
各種問題点について指摘しあった。

以上

2016年7月30日

一般社団法人日本地質学会執行理事会  
会 長（代表理事） 渡部芳夫  
署名人 執行理事 斎藤 眞